

職員による自己評価

A業務改善

・新人職員研修を増やし、職場内研修のプログラムを増やした。キャリアに応じた研修が充実すると良いという意見があった。

B適切な支援の提供

・保護者のニーズを書面で把握し、個別支援計画や支援プログラムにできるだけ反映させる取り組みができています。

C関係機関との連携

・関係機関への訪問、療育センターへの受け入れを積極的に行い、支援内容の情報の共有化を図ることができた。

D保護者への説明責任等

・コロナ禍において当初の予定通りに面談などを実施できない面もあったが、限られた時間で丁寧に説明し、支援内容を共有できた。

E非常時等の対応

・定期的な避難訓練を実施しているが、さらに実践的な訓練も取り入れ、緊急時のマニュアルも定期的に共有する機会が必要である。

保護者による評価

A適切な支援の提供

・支援内容は、概ね満足しているという評価だったが、活動プログラムや使用する遊具について、固定化していると感じる、という意見があった。

B保護者への説明等

・懇談会の開催などは難しい状況だったが、保護者同士で連携することは貴重なので、保護者間で意見交換できる機会を多く作って欲しいという意見が多数あった。

C非常時等の対応

・限られた時間の中での説明会であったが、緊急時の対応方針など、別紙で分かりやすい説明があったという評価をいただいた。一方では、避難訓練が登園日に当たらなかったのも、よく分からなかったという意見もあった。

D満足度

・支援内容については、「はい」が約90%あり、概ね満足しているとの評価をいただいた。その他としては、子どもが通所を楽しみにしているか分からないという意見もあった。

通園課内での分析

【共通点】

・保護者の連携支援

職員も保護者も保護者同士の連携を大切にしているが、今年度は感染症予防対策のために懇談会などの情報交換会を予定通り開催できなかった。保護者支援のプログラムを充実させていくことが共通課題であることを改めて認識できた。

・支援内容の共有化

個別支援計画の内容について、面談で丁寧に説明をされ、クラスの療育場面でも個々の子どもの発達に合わせて対応ができています。ただし、職員と保護者で話し合う時間がもう少し設定できると、対応方法についてより具体的に確認しやすくなる。

【相違点】

・プログラム内容についての満足度は高い評価をいただいた。自由記述の中では、プログラムが固定化している、使用する遊具に変化がないといった意見があった。

・週3日の通園形態など、さらに通園メニューを多くして欲しいという意見があった。

分析・検討してみても…

通園課の強み

●個別支援計画の作成手順

保護者の子育てへの不安感や療育へのニーズを丁寧に聞き取り、お子さんへの支援プログラムに活かしていくことの大切さを職員間で共有し、支援することができています。

●保護者支援プログラムの充実

保護者の療育経験、お子さんの年齢に合わせて年間のプログラムが計画・実践されています。保護者が発達や特性を理論的に学ぶことに加え、家庭での子育ての工夫や地域での支援方法について保護者間で実践的に学び合う内容も充実してきています。

通園課の改善点

●お子さんへの療育プログラムの充実

活動プログラムや遊具の設定方法などについて、保護者への丁寧な説明と活動のバリエーションの拡充という両面からプログラムをさらに充実させていく必要があります。

●保護者連携支援の充実

保護者間で情報交換できる機会を療育活動の中に取り入れ、子育てや療育に関する話し合いができるようなプログラムを増やしていくことが求められています。

通園課の改善への取り組み

○保護者プログラムで、年間を通して懇談会などの保護者同志の情報交換ができるプログラムを組み入れ、昼食後の時間も有効活用できるように工夫していきます。勉強会の内容もさらに充実させていきながら、子育てを技術面・精神面とも多角的に支援していくプログラム作りを進めます。

○遊具の効果的な入れ替え、活動プログラムの研究をさらに進め、お子さんの発達と特性に応じて柔軟に対応できる環境と活動バリエーションの拡充に努めます。また、常に療育スキルの向上への探求を積み重ね、保護者へ具体的で適切な説明を行なえるようにします。

～自己評価を行っての通園課としての感想など～

・通園療育にとって、お子さんへの支援とともに保護者への子育て支援プログラムを充実させていくことの重要性を、今回の保護者の皆様からのご意見からも改めて認識しました。今後の療育活動を通して、お子さんと保護者の皆様のニーズを適切に反映させながら確かな専門性のある支援を展開することで、さらに地域の皆様に信頼される療育センターになるように取り組んでまいります。今年度はコロナ禍において計画通りに実施できないプログラムもありましたが、利用者の皆様に様々なご協力をいただきましたこと、児童発達支援自己評価に多数のご意見をいただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

事業所名 川崎西部地域療育センター

担当者 通園課 園長 長門展弘

保護者アンケート集計結果

		項目	はい	どちら ともい えない	いいえ	わから ない	無回答
支援 提供 適切 の な	①	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで作成された「個別支援計画」に沿った支援が行われているか	93.5%	2.6%	1.3%	0.0%	2.6%
	②	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	75.3%	18.2%	5.2%	1.3%	0.0%
保護 者 へ の 説 明 等	③	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	93.5%	5.2%	1.3%	0.0%	0.0%
	④	事前に作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	94.8%	2.6%	1.3%	1.3%	0.0%
	⑤	日頃から子どもの状況を保護者と職員とで伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	88.3%	10.4%	1.3%	0.0%	0.0%
	⑥	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の家族支援が行われているか	93.5%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	⑦	保護者会（懇談会等）の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	48.1%	36.4%	11.7%	3.9%	0.0%
	⑧	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	88.3%	9.1%	0.0%	2.6%	0.0%
	⑨	定期的にクラスだより等で、活動概要や行事予定、連絡体制等を保護者に対して発信されているか	97.4%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	⑩	個人情報の取扱いに十分注意されているか	93.5%	2.6%	0.0%	3.9%	0.0%
非 常 時 等 の 対 応	⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルについて、保護者に周知・説明されているか	89.6%	7.8%	1.3%	1.3%	0.0%
	⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	62.3%	20.8%	2.6%	13.0%	1.3%
満 足 度	⑬	子どもは通所を楽しみにしているか	79.2%	16.9%	0.0%	3.9%	0.0%
	⑭	センターの支援に満足しているか	88.3%	9.1%	1.3%	1.3%	0.0%

職員評価の集計結果

		チェック項目	はい	いいえ	無回答・他
業務改善	①	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	63.6%	36.4%	0.0%
	②	保護者等向け評価表により把握した保護者等の意向等を、業務改善につなげているか	90.9%	9.1%	0.0%
	③	職員の資質の向上を行うための、研修の機会は十分か	63.6%	31.8%	4.5%
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで作成された「個別支援計画」に沿った支援が行われているか	100.0%	0.0%	0.0%
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100.0%	0.0%	0.0%
	⑥	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100.0%	0.0%	0.0%
	⑦	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100.0%	0.0%	0.0%
	⑧	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	95.5%	4.5%	0.0%
関係機関との連携	⑨	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	90.9%	4.5%	4.5%
	⑩	保健センターや保育所・幼稚園等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	95.5%	4.5%	0.0%
	⑪	（医療的ケア児や重症心身障害児について）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	90.9%	4.5%	4.5%
	⑫	（医療的ケア児や重症心身障害児について）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	90.9%	4.5%	4.5%
	⑬	移行支援として、保育所や、幼稚園、小学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	95.5%	4.5%	0.0%
保護者への説明責任等	⑭	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	81.8%	9.1%	9.1%
	⑮	事前に作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか	100.0%	0.0%	0.0%
	⑯	日頃から子どもの状況を保護者と職員とで伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100.0%	0.0%	0.0%
	⑰	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と家族支援を行っているか	100.0%	0.0%	0.0%
	⑱	親の会の活動の支援や、保護者会（懇談会等）の開催等により保護者同士の連携を支援しているか	95.5%	4.5%	0.0%
	⑲	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	90.9%	4.5%	4.5%
	⑳	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等を子どもや保護者に対して発信しているか	68.2%	31.8%	0.0%
非常時等の対応	㉑	個人情報の取扱いに十分注意されているか	90.9%	9.1%	0.0%
	㉒	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知されているか	63.6%	36.4%	0.0%
	㉓	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	72.7%	27.3%	0.0%
	㉔	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	95.5%	4.5%	0.0%
	㉕	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	95.5%	4.5%	0.0%
	㉖	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	59.1%	36.4%	4.5%
	㉗	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応がなされているか	86.4%	13.6%	0.0%
	㉘	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	50.0%	40.9%	9.1%